

# ACT Japan 2018 年度・年次ミーティング プログラム

2019 年 3 月 5 日

2018 年度年次ミーティング開催責任者

土屋 政雄 (ACT Japan 理事/株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント)

## 【テーマ】「行動変容のための ACT」

アクセプタンス&コミットメント・セラピー (ACT) は、現代の行動分析学がヒトの言語や認知に関する理論 (関係フレーム理論, RFT) を発展させる過程で開発が進められてきました。主に言語的な介入に頼る臨床場面で活用される臨床行動分析のアプローチの 1 つに ACT は位置づけられます。ACT は、RFT を臨床実践で適用しやすくするために、行動原理そのものではないが、それに基づいた中間レベルの用語によって構築された病理と治療の臨床モデルを用います。つまり、ACT のモデルは基礎的な行動原理と臨床実践の間のユーザーフレンドリーなインターフェイスといえます。

しかし、実際の介入においては、伝統的な行動分析学や RFT に関する考え方を当然のように活用する場面も生じるため、より上のレベルを目指す ACT ユーザーには、基礎的な行動原理の知識はかかせないでしょう。加えて、ACT は健康な人達のレジリエンスやウェルビーイング、パフォーマンス向上、または健康行動の増進などにも応用され、適用範囲やユーザーの裾野が広がっています。本会のような専門家のコミュニティの役割としては、ACT の原点である行動の考え方について、何度でも立ち戻って確認していく場を提供することが求められるでしょう。そこで ACT の発展の流れを再度確認し、臨床や社会的課題の解決に ACT を活用していくために、今回のテーマは「行動変容のための ACT」としました。

## 【場所】

目白大学(新宿キャンパス) 7号館 B1 07A00 教室

東京都新宿区中落合 4-31-1 (HP [https://www.mejiro.ac.jp/access/#tab\\_content\\_01](https://www.mejiro.ac.jp/access/#tab_content_01))

最寄駅 西武新宿線・都営地下鉄大江戸線「中井」駅より 徒歩 8 分

都営地下鉄大江戸線「落合南長崎」駅より 徒歩 10 分

東京メトロ東西線「落合」駅より 徒歩 12 分

## 【参加条件】

「ACT Japan の会員、あるいは心理関連領域の専門職および大学院生(2019 年度入学予定者も可)、および本会活動に関心のある方」

※ 今回のミーティングでは事例報告があります。守秘義務のある資格(臨床心理士, 公認心理師, 医師等)を持たない方には、個人情報保護誓約書を当日受付で記入していただきます。

**【参加費】** ※いずれも当日会場にてお納めください。できるだけ、お釣りがないようにお願いします。

一般 会員 4,000 円

一般 非会員 7,000 円

大学院生(会員非会員を問わず) 2,000 円

**懇親会費 (会員非会員を問わず)**

一般 5,000 円

大学院生 3,000 円

**【発表者へのお知らせ】**

ポスターはテープで貼る形式になります。なお、サイズは縦 150 センチ、横 75 センチに収まるようにお願いします。テープは会場に用意されています。

**【その他お知らせ】**

- ・大学内で昼食を購入する所はございませんので、来る途中に購入してこられることをおすすめします
- ・インターネットに接続する設備はございませんので、必要な方はご自身で通信環境をご用意下さい

**【参加申込の方法】**

○参加はすべて事前の申し込みが必要です。

○2019年2月28日(木)までに必ずお申し込みください。

2019年3月9日(土)までに延長いたしました

○参加申し込みはこちら(<https://goo.gl/forms/JImxNSd1N1itWql92>)にてお願いします。

## 【ACT Japan 2018 年度年次・ミーティング日程表】

---

1 日目 2019 年 3 月 16 日(土) 場所:7 号館 B1 07A00 教室

- 13:00～ 受付開始
- 13:30～16:30 ワークショップ<入門>:「ACT では主訴に対し, 何をどう変容するのか?」  
講師:三田村仰(立命館大学 総合心理学部)
- 16:45～17:45 ポスターセッション
- 18:00～20:00 懇親会
- 

2 日目 2019 年 3 月 17 日(日) 場所:7 号館 B1 07A00 教室

- 9:30～ 受付
- 9:30～10:00 総会
- 10:00～12:10 事例発表(60 分程度×2題)  
事例発表1 菊池ゆう子(株式会社スタートライン)  
「身体症状を呈した精神障害者に対する Acceptance & Commitment Therapy (ACT)」  
司会兼コメンテーター:伊井俊貴(メンタルコンパス株式会社)
- 事例発表2 藤原慎太郎(嶺南こころの病院)  
「母子家庭の子女の“母親を心配させたくない・迷惑をかけられない”という認知的フュー  
ジョンと ACT-価値に沿った行動活性化を中心とした介入-」  
司会兼コメンテーター:酒井美枝(名古屋市立大学大学院)
- 12:10～13:10 休憩
- 13:10～14:30 教育講演:「関係フレーム理論から考える行動変容」  
講師:大月友(早稲田大学 人間科学学術院)
- 14:40～16:20 大会企画シンポジウム:「価値に基づいて行動変容を促す」  
司会 大屋藍子(同志社大学)  
話 題 提 供 坂野朝子(同志社大学)  
齋藤順一(早稲田大学大学院 人間科学研究科)  
木村香苗(医療法人社団悠悠会 オアシスクリニック)
- 指 定 討 論 瀬口篤史(犬山病院)
- 16:20～16:30 閉会

※会の運営に当たっては極力準備作業の軽減を図っております。予めご了承ください。

## 【ポスター発表(研究成果・情報交換)】

### 研究成果 01

Compassionate Engagement and Action Scales (CEAS) 日本語版の開発

浅野 憲一 目白大学

### 研究成果 02

短期間アクセプタンス&コミットメント・セラピーの系統的レビューとメタ分析

伊藤 雅隆 同志社大学大学院

橋本 光平 同志社大学大学院 (非会員)

武藤 崇 同志社大学心理学部

### 研究成果 03

その体験的技法で大丈夫?—文化的背景に着目した体験的技法の効果検討の経過報告—

嶋 大樹 同志社大学心理学部 / 日本学術振興会特別研究員

武藤 崇 同志社大学心理学部

### 研究成果 04

EIT 研修に導入した ACT オリジナルコンテンツの効果の検証

古谷 大樹 明星大学人文学研究科心理学専攻博士後期課程 / 株式会社スタートライン障がい者雇用研究室

小倉 玄 株式会社スタートライン障がい者雇用研究室

刎田 文記 株式会社スタートライン障がい者雇用研究室

### 研究成果 05

Creative Hopelessness の介入による Ecological Momentary Assessment を用いた行動的プロセスの変化の検討

高橋 まどか 早稲田大学大学院人間科学研究科

嶋 大樹 同志社大学心理学部 / 日本学術振興会特別研究員

井上 和哉 早稲田大学大学院人間科学研究科

齋藤 順一 早稲田大学大学院人間科学研究科 / 日本学術振興会特別研究員

熊野 宏昭 早稲田大学人間科学学術院

### 研究成果 06

仕事における心理的柔軟性のベイズ段階反応モデル—年齢の特異項目機能に基づく検討—

戸澤 杏奈 株式会社アドバンテッジ リスク マネジメント

土屋 政雄 株式会社アドバンテッジ リスク マネジメント

松永 美希 立教大学現代心理学部 (非会員)

## 研究成果 07

日本語版 BEAQ の作成

坂口 龍也 立命館大学大学院 人間科学研究科

瀬口 篤史 立命館大学大学院 人間科学研究科

三田村 仰 立命館大学 総合心理学部

## 情報交換 01

リワークデイケアにおける集団アクセプタンス&コミットメント・セラピーの実践

小松 広幸 ホヅミひもろぎクリニック

## 情報交換 02

文脈的行動科学における実践的アプローチを学ぶための CBS 勉強会について

芴田 文記 (株)スタートライン

## 情報交換 03

変容のアジェンダの測定の試み

—Implicit Relational Assessment Procedure を用いて—

井上 和哉 早稲田大学大学院人間科学研究科博士3年

## 情報交換 04

動機づけ面接が会話内容の反応分化に及ぼす効果

首藤 祐介 広島国際大学心理学部

松本 奈保 京都第一赤十字病院 (非会員)

磯村 毅 リセット禁煙研究会 予防医療研究所 (非会員)

## 情報交換 05

自己相関を考慮したベイジアンモデルによる一事例実験デザインの解析

土屋 政雄 株式会社アドバンテッジ リスク マネジメント

以上